

治療した部位と治療方法

1 問診診察結果 (トーキングカード メーカー・ソニー)

- (1) カードが送られない
- (2) 電池は新品



図-1 磁器カード



図-2 本体

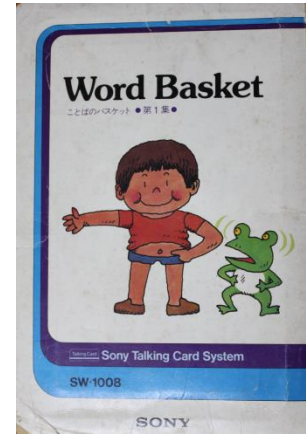


図-3 カードケース

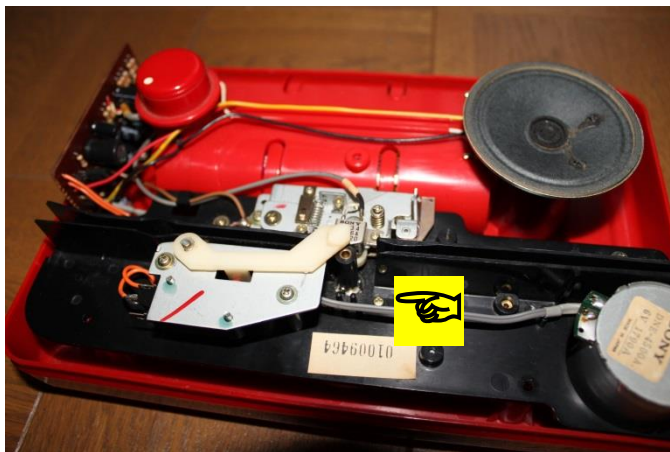


図-4 本体カバー外す

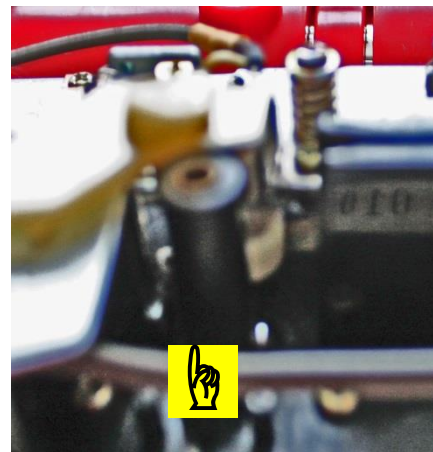


図-5 中央円柱ゴムがカード送り

- (3) 診察結果は、とはカード送りの円柱ゴム

ア カードを通し始めると、モーターは回転するが、カードを引き込まない。カバーを外し中見る。
 イ カード送りの円柱ゴムを見ると回転しているが引き込まない。手で押し込み動かすと声は出る。
 ウ 円柱ゴムに指を触れてみると滑る。滑ってカードを引き込まないと判断した。図-5

2 治療の方法

- (1) 乗用車のベルト鳴き止めスプレーの液を綿棒に取り、円柱のゴムを回転させて数回拭いた。
- (2) カードを通すと、低速で通るが正常な声にならない。
- (3) 円柱ゴムの回転も止まりかける。ゴムベルトが伸びてゆるくなっていると判断。
- (4) ネジ3本を外して裏側を見た(図-4 手前半分の黒い部分の裏側)。ゴムベルトの状態図-6。
- (5) 直径約4cmの市販の輪ゴムと2本とも取り替えてテストすると正常に声が出だした。
- (6) 黒色のゴム2本注文して取り寄せた。小さいほうのベルトは良かったが、大きいほうが合わず、図-7の橙色のウレタン線φ1.5mmをプーリーからプーリーへの円周の長さを測って切断し、半田ごてで両端を暖めてから即くっつけて、ベルトを作りセットした。テスト結果は上々です。

- (7) 最初は少し滑るようだったので、乗用車のベルト鳴き止めスプレーの液をティッシュに染込ませて、ウレタンベルトを数回拭いて、油気を取り去った。プーリーの方へも塗布した。
- (8) このウレタンベルトは、伸び率が非常に少ないとのことである。
長さ(円周)も自在に調節できる利点もある。

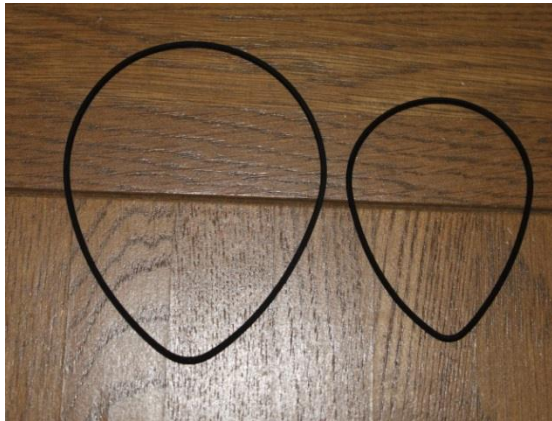


図-6 伸びているゴムベルト

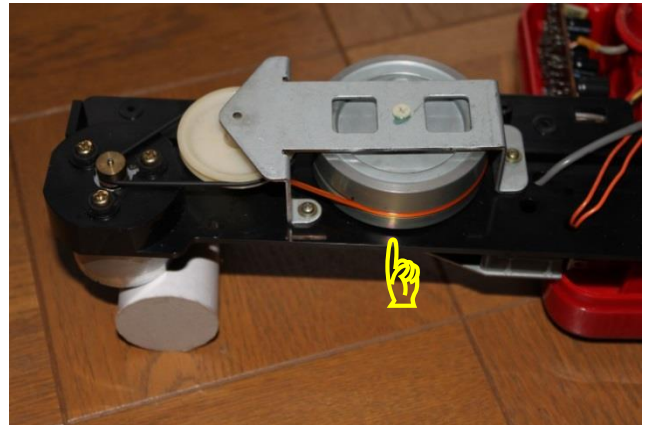


図-7 円柱ゴムを回転させる径の大きいプーリーとウレタン線で作ったベルト(橙色)

3 ドクターからのアドバイス

- (1) 使用しない期間が長期の場合、駆動プーリーの回転方向に引っ張った状態でかたまり、図-6のように伸びたままで変形すると思います。ゴムも老朽化して弾力性がなくなると思います。
- (2) テープレコーダーの故障部位は、ゴムベルトとカード送りの円柱ゴムが原因の故障が多いと思います。動かなくなった場合は、また、修理にお持込み下さい。
- (3) ゴムベルトは、応急的には市販の輪ゴムでしばらくの間は使用できます。
カード送りがうまく出来なくなれば、裏のカバーを外して、ベルト鳴き止めスプレーの液を綿棒に染込ませて、カード送りスイッチを操作して回転させ綿棒を円柱ゴムに当てて塗布すれば、カード送りが良くなると思います。

お渡し予定日 : 平成28年4月9日

担当ドクター : 谷 春 雄